

ハーバート・パッシンと日本文化フォーラム

—シカゴ大学 International Association for Cultural Freedom Records から

服部訓和

日本文化フォーラム (JCF) は、反共的な国際文化団体であった文化自由会議の日本支部であり、その事実上の機関誌が「現実主義」の論陣を張ったことで知られる『自由』だった。JCF 設立を主導したのは米国の社会人類学者・日本学者ハーバート・パッシンだが、パッシンは元来社会主義的な思想の持ち主であった。一方、JCF および『自由』には、日本の民主社会主義者、元共産主義者、自由主義者たちが集っている。いったいなぜ、通常は左派に分類された人々のなかから、戦後日本の保守主義が蠢動していくことになったのか。本稿では、シカゴ大学図書館に包括的に保存されている文化自由会議関連文書の調査を中心に、JCF および『自由』がいかなる事実とコンテキストのもとで成立したのか、どのようにして戦後日本の保守主義が成立したのか、その一端を検討している。その過程で『自由』が JCF 経由で内閣調査室や財界の資金を受け取っていたことも明らかにしている。

A Study of Herbert Passin and Japan Cultural Forum: Based on the “International Association for Cultural Freedom Records” in University of Chicago Library.

Kunikazu HATTORI

This essay clarifies the state of the Japan Cultural Forum (JCF) and its bulletin, Jiyû(Freedom). JCF and Jiyû(Freedom) represent the early stages of postwar Japanese conservatism, but their members included many democratic socialists, former communists, and liberals, including Herbet Passin—who pioneered the forum’s founding. How did the group fall into cultural conservatism? This essay explores this question based on the original source from “International Association for Cultural Freedom Records” in University of Chicago Library. It was found that Jiyû(Freedom) received financial support from the Japanese governmental intelligence agencies and the business circles through JCF.